

1 第2回開催

- (1) 日 時 令和4年（2022年）12月7日 水曜日 午後2時～
- (2) 場 所 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設
- (3) 出席者 ① 検証委員会委員（7名） ② 国（文化庁、国土交通省）※リモート
③ 熊本県（文化課、都市計画課） ④ 熊本市（文化財課、公園課、熊本城総合事務所）

2 委員

	役職	氏名	分野	備考
1	委員長	蓑茂 壽太郎	造園学	東京農業大学 名誉教授 (熊本城復旧基本計画策定委員会 委員長)
2	副委員長	山尾 敏孝	土木工学 (歴史遺産)	熊本大学 名誉教授 (熊本市文化財保護委員会 委員長、熊本城文化財修復検討委員会 委員長)
3	委員	伊東 龍一	建築学 (日本建築史)	熊本大学大学院 教授 (特別史跡熊本城保存活用委員会 委員長)
4	委員	北野 博司	考古学 (石垣)	東北芸術工科大学 教授 (熊本城文化財修復検討委員会 石垣ワーキング長)
5	委員	坂本 浩	経済・観光	熊本商工会議所 専務理事
6	委員	原 幸代子	文化	熊本県文化協会 副会長
7	委員	三浦 瑠璃	公募	

第2回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

3 議事

(1) 第1回委員会における主な意見

第1回熊本城復旧基本計画検証委員会での主な意見と回答について報告

(2) 熊本城の復旧状況

令和4年度に実施した復旧事業について報告

(3) 熊本城復旧基本計画 全体工程の検証結果

第1回委員会において了承いただいた全体工程の見直しについて、計画期間を20年から35年へ変更する案を提案

- 計画15年目と25年目に大きな節目を迎え、35年目に復旧完了
- 15年目（令和14年度）には宇土櫓と本丸御殿の復旧が完了
- 25年目（令和24年度）には全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧が完了
- 26年目（令和25年度）から35年目（令和34年度）までは、見学通路の撤去や主要区域以外の工事と並行して、新たな整備計画の検討も行う
- 今後、新たに得られる知見や社会・経済情勢、建設環境の変化に計画を順応させるため、5年ごとに検証を実施する

第2回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

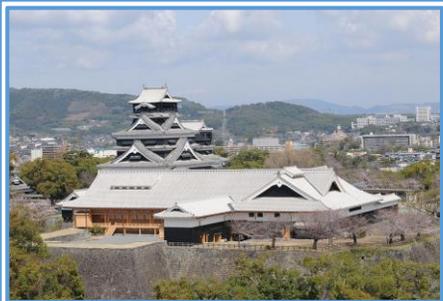
3 議事

(3) 熊本城復旧基本計画 全体工程の検証結果

計画15年目（令和14年度）
宇土櫓、本丸御殿の復旧完了

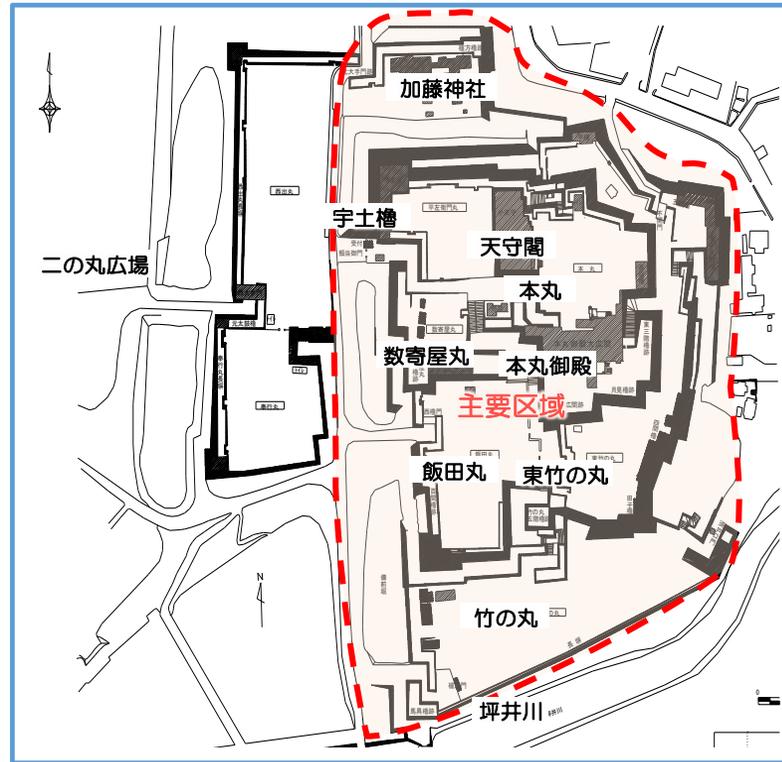


宇土櫓



本丸御殿

計画25年目（令和24年度）
全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧完了



計画26年目（令和25年度）
～35年目（令和34年度）
見学通路撤去・主要区域以外の工事と
新たな整備計画検討の並走

熊本城主要区域の復旧完了

特別見学通路の撤去
主要区域以外の
工事の実施

新たな整備計画の検討

新たな整備計画の開始

○今後、新たに得られる知見や社会・経済情勢、建設環境の変化等に順応させ、5年ごとに検証を実施する

第2回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

3 議事

(4) 熊本城復旧基本計画 改定素案（概要）

第1回委員会での意見や、全体工程の検証結果に基づき内容を見直した計画の改定素案（概要）を提案

- 計画期間の変更
- 石材の保管ヤードの拡充
- 復旧状況を踏まえた公開エリアの再検討
- 復旧過程の公開・活用に関する新たな取組の検討
- 石垣・建造物の耐震化について実績と今後の方向性を記載
- 調査・研究における新たな発見事例を記載
- 復旧を支える専門技能者の人材育成について新たな取組を記載 など

(5) 今後のスケジュール

- ① 検証委員会（本年度中に3回開催を予定）
 - 第3回 3月（予定）⇒ 計画改定素案の最終案報告
- ② 国、県との調整 ⇒ 必要に応じて情報を共有し、熊本城公園復旧推進会議にて最終報告予定（3月）
- ③ 市民への情報発信事業 ⇒ シンポジウムやパネル展の実施（3月に開催予定）